

The page features a decorative design with three blue circles of varying sizes, each composed of concentric circles in different shades of blue. These circles are arranged along a diagonal line that runs from the top-left towards the bottom-right. The largest circle is at the top, a medium one in the middle, and a large one at the bottom right, partially cut off by the edge of the page. The background is white with thin blue lines extending from the top-left corner.

# 新島学園短期大学コ メンテーターズ一覧

取材等でコメンテーターをお捜しの場合に  
参考資料としてご活用ください。

2016 年度

## コメンテーターズ・ガイド 目次

### キャリアデザイン学科

職名	氏名	キーワード	掲載頁
学長・教授	岩田 雅明	大学経営、2018年問題、大学淘汰、大学倒産、大学の広報活動、大学の選び方、キャリア教育	2
学科長・教授	小林 俊哉	アメリカ文学、アメリカ演劇、アメリカ文化、アメリカのマスメディア、アメリカの新聞、メディアリテラシー	3
教授	前田 浩	英語学、英文法、英語表現、英語音声	4
教授	駒田 純久	マーケティング、流通経営、ビジネス教育、キャリア教育	5
准教授	高山 有紀	年中行事、奈良、法会、僧侶、教育史	6
准教授	山下 智子	キリスト教、新島襄、新島八重、八重の桜、須田清基、上毛かるた、湯浅治郎、柏木義円、群馬、再洗礼派、フットライト兄弟団	7-8
専任講師	R. A. Maher	アメリカ文学、英語イマージョン教育	9-10
専任講師	堀田 学	少子高齢化、地方行政、地方政治、福祉行政、福祉国家	11
専任講師	松田 慎一	開発経済、開発金融、マイクロファイナンス、金融論、経済理論	12
専任講師	大塚 敬義	病院情報システム、医療における情報処理、電子カルテ、医療用語辞書	13

### コミュニティ子ども学科

職名	氏名	キーワード	掲載頁
学科長・教授	渡邊 哲也	多文化、異文化、キリスト教保育、心の教育 ECEC (Early Childhood Education and Care)、OECD、	14
教授	福島 秀起		15
教授	渡邊 淳子	「語り」と文章表現としての「語り」、物語の「昔」、「をり」	16
准教授	澤田 まゆみ	ドビュッシーの音響技法、山田耕筰、安部幸明のピアノ曲、キリスト教と音楽	17
准教授	清水 将之	保育、幼児教育、児童厚生施設、放課後児童クラブ、レクリエーション、保護者支援、保育士養成システム	18
准教授	成田 小百合	子ども、母親、心理臨床、母子画、遊戯療法、トラウマ、	19
准教授	八幡 眞由美	保育、幼児教育、子育て支援、子育てバリアフリー、環境、子どもの遊び場、子どもの安全、児童文化、児童文学、絵本、紙芝居	20-21
専任講師	小菅 ゆみ	保育士、児童自立支援施設、自立、寄り添う	22

氏名 岩田 雅明 (イワタ マサアキ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 学長・教授

専門領域 高等教育 (大学経営、広報)

専門の概要 大学の経営戦略策定と、その展開についての考察を専門としています。戦略をつくり、それをきちんと展開するために必要な視点と、マネジメントについて取り扱っています。また、18歳人口の減少による定員割れの中、効果的に大学の良さを伝える広報戦略も専門としています。

備考 <著書>  
●「未来が輝く大学の選び方」2009年4月、エール出版  
●「実践的学校経営戦略」2009年8月、ぎょうせい  
●「高校生のキャリアデザインと新しい大学・短大の選び方」  
2010年8月、ぎょうせい  
●「生き残りをかけた大学経営戦略」2013年1月、ぎょうせい  
●「大学の戦略的広報」2014年8月、ぎょうせい

<出演等>  
●TBSラジオ「Gaku-Shock」高校生のキャリアデザインについて  
2010年12月  
●群馬テレビ「ビジネスジャーナル」  
2012年より、コメンテーター  
●BS-TBS「NEWS21「就職率をアップせよ・・・大学の学生獲得作戦」  
2013年2月

キーワード 大学経営、2018年問題、大学淘汰、大学倒産、大学の広報活動、大学の選び方、キャリア教育

氏名 小林 俊哉 (コバヤシ トシヤ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 教授

専門領域 アメリカ文学、アメリカ文化

専門の概要 アメリカ 20 世紀文学、とくにウィリアムズやオールビなどの演劇作家を専門としています。メディア大国としての米国にも関心を持ち、とくに近年ネット情報に対して苦戦を強いられている新聞に焦点を絞り、今後の再生や発展の可能性を探っています。

備考

<著書>

- (共著) 『『チャリング・クロス街 84 番地』における米口語選訳』  
『ヘレーン・ハンフ論纂』(開文社) 1987 年 3 月
- (共著) 『Marty: テレビと映画』『パディ・チェイエフスキー論纂』  
(開文社) 1989 年 3 月
- (共著) 『ローズ劇のドラマツルギー』『レジナルド・ローズ論纂』  
(開文社) 1995 年 3 月
- (共著) 『日米新聞比較』『アメリカ的価値観の根幹—  
『セールスマンの死』を手がかりとして』『地域研究入門--多文化理解の基礎』(開文社) 1997 年 4 月
- (共著) 『文学とキャリアデザイン—アメリカ文学におけるキャリア観  
『セールスマンの死』をめぐって』  
『キャリアデザインの多元的探求』(現代図書) 2008 年 2 月

<主な論文>

- 『Who's Afraid of Virginia Woolf? と『架空の息子』の役割』『弘前学院大学・短期大学紀要』第 22 号 1986 年 3 月
- 『An Almanac of Liberty: その思想性と娯楽性』『放送芸術学』第 5 号  
1989 年 12 月
- 『アメリカにおける新聞の現状と今後 (その 1)』  
『新島学園短期大学紀要』第 27 号 2007 年 3 月
- 『アメリカにおける新聞の現状と今後 (その 2)』  
『新島学園短期大学紀要』第 29 号 2009 年 3 月
- 『アメリカにおけるメディアリテラシー (1) ...1990 年代前半まで』『新島学園短期大学紀要』第 31 号 2011 年 3 月
- 『アメリカにおけるメディアリテラシー (2) 1996 年から 2000 年まで』『新島学園短期大学紀要』第 34 号 2014 年 3 月

キーワード アメリカ文学、アメリカ演劇、アメリカ文化、アメリカのマスメディア、アメリカの新聞、メディアリテラシー

氏名 前田 浩 (マエダ ヒロシ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 教授

専門領域 英語学

専門の概要 「英語学」は英語では **English linguistics** と言います。文字通り「英語の言語学」を意味します。英語学とは、英語の科学的研究で、一見何の規則性のない英語の事例の中に潜む規則性を発見し、そこにどのような規則が働いているか仮説を立て、それを証明するという科学的手法を取る学問分野です。英文法、英語表現（特に、口語英語表現）、英語音声に関して興味深い話をすることを比較的得意としています。

備考

<著書>

- 「**Handsome** の女性に用いられる用法—アンケート調査とコーパスを用いて—」『比較文化学の地平を拓く』日本比較文化学会関東支部（編）、2014年3月30日、開文社出版
- 「曖昧語の曖昧性を取り除く—日英語の蓋然性を表す副詞を中心に—」『比較文化学論纂』芳賀馨（編）、1998年4月20日、開文社出版

<翻訳協力>

- 『小学館 オックスフォード 英語コロケーション辞典』八木克正（監）、2015年2月9日、小学館

<論文>

- 「映画『赤毛のアン』における呼びかけ語としてのフルネームの使用」『大塚フォーラム』第31号、2013年11月25日、大塚英語教育研究会
- 「大学生の英語音声習得の現状とその発音記号習得との関連性」『新島学園短期大学紀要』第33号、2013年3月31日、新島学園短期大学
- 「文法性と容認可能性」『英語表現研究』第18号、2001年6月1日、日本英語表現学会

<講演>

- 「文法は誤読を救う」、2015年6月14日、外国語学校エスパス

<所属学会>

- 日本英語学会 ●英語語法文法学会 ●日本英語表現学会
- 日本比較文化学会（幹事） ●大塚英語教育研究会（幹事）
- 映画英語教育学会 ●筑波英語教育学会

<資格>

- 実用英語技能検定1級 ●国際連合公用語英語検定試験 A 級
- 通訳案内業試験 ●日本語教育能力検定試験

キーワード 英語学、英文法、英語表現、英語音声

氏名 駒田 純久 (コマダ スミヒサ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 教授

専門領域 マーケティング、流通

専門の概要 企業のマーケティング活動、とくにメーカーの流通チャネル戦略や卸・小売業のマネジメントを専門としています。また、最近の関心は、これから必要とされる商業（ビジネス）教育にあります。

備考 <著書>  
●論文「商業教育の変容と商人像」2009年、関西学院大学『商学論究』  
●『1からの戦略論』（共著）2009年、碩学舎

キーワード マーケティング、流通経営、ビジネス教育、キャリア教育

氏名 高山 有紀 (タカヤマ ユキ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 准教授 学生部長

専門領域 日本教育史、日本中世史

#### 専門の概要

中世奈良の寺院で毎年開催された法会（ほうえ）の内容、特に僧侶の養成・教育に関わる部分について、その変遷を研究してきました。教育には、今も昔も変わらない点があり、時代を下り他の時代の教育と比較してみると新しい発見があります。また、仏教と関わりの深い年中行事や、衣食住の習慣、思想を通じて、日本文化を論じることにも関心を持っています。

#### 備考

##### <論文>

「中世南都の寺院法会と僧具 ―その宗教的・社会的役割に関する一考察―」日本比較文化学会関東支部編『比較文化学の地平を拓く』（開文社出版 2014年）所収

「中世の慈恩会」奈良女子大学古代学学術研究センター設立準備室編『儀礼にみる日本の仏教 ―東大寺・興福寺・薬師寺―』（法蔵館 2001年）所収

（項目執筆）

『年中行事大辞典』吉川弘文館 2010年

#### キーワード

年中行事、衣食住、奈良、法会、教育史

氏名 山下 智子 (ヤマシタ トモコ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 准教授・宗教主任・新島文化研究所所長・牧師 (日本基督教団正教師)  
専門領域 キリスト教史(新島八重、新島襄、群馬のキリスト教、再洗礼派など)  
キリスト教学 (キリスト教入門)

専門の概要 日本のプロテスタント・キリスト教の歴史を専門にしています。特に新島八重や新島襄、その周辺にいた湯浅治郎、柏木義円、須田清基 (上毛かるたの原案者) など群馬のクリスチャン、群馬のキリスト教についての研究をしています。新島八重に関しては2013年度NHK大河ドラマ『八重の桜』のキリスト教関連アドバイザーとして撮影に立ち合っていました。また、キリスト教学の分野では「キリスト教ははじめて」「よくわからない」という方を対象に、平易な言葉でキリスト教について説明することを専門としておりキリスト教の入門書を複数執筆しています。

備考 <著書>  
●共著『聖霊の降臨 使徒の働き・初期教会の歩み』(キリスト新聞社 2006年5月)  
●単著『こひつじたちのあいうえお』(日本基督教団出版局 2012年4月)  
●編著『群馬のキリスト者たち』(聖公会出版 2012年9月)  
●単著『新島八重ものがたり』(日本基督教団出版局 2012年12月)  
●共著『教会では聞けない「21世紀」信仰問答Ⅰ まずは基礎編』(キリスト新聞社 2013年6月)  
●単著『こひつじたちのABC』(日本基督教団出版局 2015年1月)  
●共著『教会では聞けない「21世紀」信仰問答Ⅱ 悩める牧師編』(キリスト新聞社 2015年6月)  
<論文>  
●「フッタライト兄弟団の研究」(同志社大学大学院神学研究科博士課程 (前期課程) 歴史神学専攻 修士論文 1995年)  
●「須田清基—上毛かるたへの貢献—」(新島学園短期大学紀要 30号 2010年3月)  
●「須田清基—新島襄への理解—」(新島学園短期大学紀要 31号 2011年3月)  
●「新島八重の信仰」(新島学園短期大学紀要 33号 2013年3月)  
●「新島八重の祈り」(新島学園短期大学紀要 34号 2014年3月)  
●「新島八重と賛美歌」(新島学園短期大学紀要 35号 2015年3月)  
<雑誌・新聞等>  
●「Dressing Like Myself: My Experience as a Female Pastor」『in God's image』(Asian Women's Resource Centre for Culture and Theology 2009年12月)



- 「聖書を開こう ゆるしの主に出会った人々Ⅰ」『教師の友』（日本キリスト教団出版局 2010年1月）
  - 「視点 オピニオン21」『上毛新聞』（上毛新聞社 2009年12月～2010年11月）
  - 連載「新島八重を追っかけて」『信徒の友』（日本キリスト教団出版局 2013年4月～2014年3月）
  - 「八重と群馬」『同志社時報』（学校法人同志社 2013年4月）
  - 図録「八重と群馬」『第80回企画展「新島襄生誕170年 襄と八重の上州—新島襄がこの地に播いた種—』』（群馬県土屋文明記念文学館 2013年4月）
  - CD ライナーノーツ「新島八重の賛美」『NHK大河ドラマ「八重の桜」—オリジナル・サウンドトラックⅢ』（COMMONS 2013年11月）
  - 「八重の故郷と襄の父祖の地」『繋ぐ思い—新島八重と同志社』（同志社大学 2014年10月）
- <出演等>
- NHK 2013年大河ドラマ『八重の桜』 キリスト教関連アドバイザー
  - NHK-Eテレ『グレーテルのかまど』「新島八重の洋菓子」（2013年4月19日放送）
  - テレビ朝日『お坊さんバラエティ ぶっちゃけ寺』「お坊さんとキリスト教が意気投合SP」（2015年5月11日放送）
  - テレビ朝日『お坊さんバラエティ ぶっちゃけ寺』「未公開&もう一度見たい傑作選 SP」（2015年5月30日放送）
  - 『信徒の友』（日本キリスト教団出版局）編集委員 2014年～

キーワード キリスト教、新島襄、新島八重、八重の桜、須田清基、上毛かるた、湯浅治郎、柏木義円、群馬、再洗礼派、フッタライト兄弟団

氏名 Richard A. Maher (リチャード A マハー)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 専任講師

専門領域 アメリカ文学

専門の概要 Literature has a place in the EFL (English as a Foreign Language) curriculum. Literature expands language awareness by exposing students to authentic vocabulary and grammar structures. Also, it is a window to other cultures, customs, and ways of thinking. Literature encourages critical thinking and discussion about characters, plot, and social commentary. In addition, reading about the ideas and experiences of others helps students think about their own experiences and develop their own original ideas. It can inspire the imagination of students because they can talk about their feelings and opinions. Finally, literature can motivate students to read in English and their native language, and foster love for the written word.

文学は EFL (外国語としての英語) のカリキュラムにおいて重要です。文学は、本格的な語彙や文法構造に学生が触れることによって、言語意識を広げます。また、それは他の文化、習慣、そして思考の方法を知る鍵となります。文学は小説の人物やストーリーや社会的な論評について、クリティカル・シンキングやディスカッションを促します。また、他人のアイデアや経験について読むことは、学生が自分の経験について考え、自分の独創的なアイデアを発展させることができます。自分の感情や意見について話すことができるので、文学は、学生の想像力を刺激します。最後に、文学は学生に英語や母国語で読む意欲を高め、そして本を好きになるきっかけとなります。

備考

<著書>

●“Notwithstanding the Broken English and Imperfect Grammar”: A Short Analysis of Joseph Hardy Neesima’s Letters in English

「片言の英語と不完全な文法にもかかわらず」：新島襄の英語で書かれた手紙の分析 2015年3月、新島学園短期大学紀要 35号

●Ringing the Bell: The Man, the Mountain, and the City in Lew Welch’s *Hermit Poems* and “The Way Back”

鐘を鳴らす：ルー・ウェルチの「隠者の詩」と「ザ・ウェイ・バック」における男、山と街 2014年3月、新島学園短期大学紀要 34号

●Hunting and Gathering Culture: Daily Life, the Seasons, and the Expatriate Experience in Philip Whalen’s Japan Poems

文化を狩り、そして摘む：フィリップ・ウェイレンの日本の詩における日常生活季節、および海外在住者の経験

2013年3月、新島学園短期大学紀要 33号

●「外国人から見た」シリーズ①：“高崎のいいところ”

2013年6月7日、地域新聞

- **Memory Stretches and Love Streams: Interconnectivity, Nature, and Romance in Michael McClure’s “Dear Being”**  
追憶の拡張と愛の流れ：マイケル・マクルーアの「ディア・ビーイング」  
における相互接続性、自然と恋愛感情  
2012年3月、新島学園短期大学紀要 32号
- **Food for Thought: マハーさんが思うこと、感じること**  
2012年1月～12月（月1回）、上毛新聞 TAKATAI
- **Gregory Corso’s “The American Way”: Then and Now**  
グレゴリー・コールソの「ザ・アメリカン・ウエー」:その当時と今  
2011年3月、新島学園短期大学紀要 31号
- **Food for Thought: マハーさんが思うこと、感じること**  
2011年1月～12月（月1回）、上毛新聞 TAKATAI

<出演等>

- 新島学園短期大学 2014年度キャリアデザイン学科公開講座  
“10 Years Abroad: Evaluating Joseph Neesima’s English Skills”  
「米国留学10年間：新島襄の英語能力評価」2014年8月30日
- 2012年度群馬県茶道会総会・講演会  
「日本での15年：アメリカ人の視点」2012年6月11日
- 新島学園短期大学 2012年度キャリアデザイン学科公開講座  
“Evaluating President Obama’s 1<sup>st</sup> Term” 「オバマ大統領の4年間の  
キャリア形成」2012年8月25日

キーワード アメリカ文学、英語イマージョン教育

氏名 堀田 学 (ホッタ マナブ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 専任講師

専門領域 政治学・行政学（地方自治、人口減少社会、福祉国家）

専門の概要 福祉国家について理論的な考察を中心に研究を行ってきました。また、福祉行政の主体が地方自治体であることから地方自治にも研究の視野を広げ、最近では人口減少社会に関心を持っています。

備考 <著書>共著  
●「少子高齢社会の福祉政策－地方分権とローカル・ガバナンス」山本啓編『ローカル・ガバメントとローカル・ガバナンス』2008年2月、法政大学出版社  
●「日本の少子化政策」岡沢憲英・小淵優子編『少子化政策の新しい挑戦－各国の取組みを通して』2010年4月、中央法規出版  
●「ローカル・ガバナンスと地方議会改革」片木淳・藤井浩司編『自治体経営入門』2012年5月、一藝社

キーワード 少子高齢化、地方行政、地方政治、福祉行政、福祉国家

氏名 松田 慎一 (マツダ シンイチ)  
所属 キャリアデザイン学科  
職名 専任講師

専門領域 開発金融論 経済理論

専門の概要 金融を研究対象の中心としています。特に「途上国における貧困」が研究テーマのひとつです。貧しい人々を対象とした金融サービスの提供を行う、マイクロファイナンスに関する研究を行っています。マイクロファイナンスは、無担保かつ無審査で、貧困層の人々に小口資金の貸し付けや、預金、保険などのサービスを提供しながら高い収益を誇り、ビジネスとしても成功を収め、市場も世界の国々で成長を続けています。

備考 <研究業績>  
● (単著) 「社会的制裁とグループ貸付」新島学園短期大学紀要 第 34 号, 2014 年  
  
● (共著) ” A Microstructural Effect of Japanese Official Intervention in the Yen/Dollar Foreign Exchange Market” Nova Science Publishers, Inc., 2013 年  
  
● (共著) 「マイクロファイナンスにおける新たな潮流 -ASA によるグループ貸付の実例から-」日本政策金融公庫 第 10 号, 2011 年

キーワード 開発経済、開発金融、マイクロファイナンス、金融論、経済理論

氏名	大塚 敬義 (オオツカ タカヨシ)
所属	キャリアデザイン学科
職名	専任講師
専門領域	①医療情報学 (病院情報システム) / ②自然言語処理 (コンピュータによる文章解析)
専門の概要	①病院における I C T (情報通信技術) の利用について。特に電子カルテシステムの運用にまつわる事柄など。②グーグルやヤフーといった検索エンジンの基礎技術について。特に医療分野における言語資源の利活用 (医療機関で用いる文書の解析) など。
備考	<p>&lt;論文&gt;</p> <p>単著</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大塚敬義：「教育用電子カルテのデータベース上に収録された模擬患者診療記録のレコード群に対する自然言語処理ツールを用いた単語の種類や出現頻度に関する考察」 (第2稿)，安田女子大学紀要 (42) 313-316, 2014年2月.</li> <li>●大塚敬義：「短期大学での電子カルテ実習授業における医療用語および情報処理用語の知識獲得に関する調査」，安田女子大学紀要 (41) 353-362, 2013年2月.</li> <li>●大塚敬義：「安田女子短期大学における教育用電子カルテシステムの試行的導入ならびに学生に対する医療用語アンケート調査」，安田女子大学紀要 (40) 259-267, 2012年2月.</li> <li>●大塚敬義：「レセコン学習授業における履修前後の意識変化について」，安田女子大学紀要 (39) 201-207, 2011年2月.</li> </ul> <p>&lt;講演・口頭発表等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「教育用電子カルテを活用した I P E への期待ーこれからの 10 年を考えるー」，大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム「コメディカル養成のための教育用電子カルテシステムおよびデータベースの構築と実践」第3回研究報告会 (於 国際医療福祉大学，東京)，2012年2月.</li> <li>●「レセプト作成支援ソフトウェアを用いた医療事務教育のあり方について」，平成 21 年度 教育改革 IT 戦略大会 (於 私立大学情報教育協会，東京)，2009年.</li> </ul>
キーワード	病院情報システム，医療における情報処理，電子カルテ，医療用語辞書

氏名 渡邊 哲也 (ワタナベ テツヤ)  
所属 コミュニティ子ども学科  
職名 学科長・教授

専門領域 海外保育・キリスト教保育

専門の概要 海外、主に欧米における乳幼児の教育とケア (Early Childhood Education and Care) と日本の幼児教育・保育についての考察を専門としています。さらにキリスト教主義の保育者養成という視点から心の教育について専門を深めています。

備考 <学会発表>

●「キリスト教主義に基づく保育者養成課程の考察 ―心の教育を通して保育の専門性を身に付ける」2015年9月、全国保育士養成協議会 第54回研究大会

●「Christian Education and Caregiver and Kindergarten Teacher Training in one community, Japan」2015年7月、OMEP (世界幼児教育・保育機構) 大会 Washington D.C.) (筆頭発表者、共同研究)

●「キリスト教教育と保育者養成」2015年5月、保育学会 (筆頭発表者、共同研究)

●「地域教会との連携についての考察」2009年8月、日本キリスト教教育学会 第21回学会大会

●「理論と実践を融合した協働的教育方法の可能性 ―幼稚園と連携したフィールドワーク実践演習の試みを通して―」2008年9月、全国保育士養成協議会 第47回研究大会 (共同研究発)

●「新島短期大学コミュニティ子ども学科における「キリスト教保育」の取り組みについての考察」2007年6月、日本キリスト教教育学会 第19回学会大会

●キリスト教保育の現状と課題 2007年5月、日本保育学会 第60回大会 (ポスター発表、共同研究) 「キリスト教保育の現状と課題」

<著書>

●「学生の学びの基本姿勢の再構築への取り組み―指定保育士養成・幼稚園教諭課程認定大学として」、2009年3月、新島学園短期大学紀要第29号

●「指導計画におけるドキュメンテーション」2006年3月、新島学園短期大学紀要第26号

キーワード 多文化、異文化、ECEC (Early Childhood Education and Care)、OECD、キリスト教保育、心の教育

氏 名 福島 秀起 (フクシマ ヒデキ)

所 属 コミュニティ子ども学科

職 名 教授

専門領域 表現「和太鼓」

専門の概要 伝統楽器「和太鼓」  
「打てば響く」太鼓の奥深さを探求し、現在では地域の子供から大人をはじめ、現場の教職員も太鼓を通じて関わりを深めております。  
現在、和太鼓の道場を開き地域活動や発表を含む指導や作曲を手掛けております。

備 考  
1990年～  
・ 前職場(川越市)で「音出舞座」として太鼓グループを結成。各種イベントに出演  
・ 依頼を受けた全国の保育園、幼稚園。各種団体の太鼓指導  
・ 地方で保育園、幼稚園の保育教諭に向けて宿泊講習会を開催  
2000年～  
・ 高崎保育専門学校にて「表現」の授業で和太鼓を取り入れ指導  
・ 現在、職場でも「職員太鼓」を導入し、行事等で披露  
・ 太鼓道場「風馬」を開設し、12年目を迎え現在に至る

キーワード 特になし



氏名 渡邊淳子 (ワタナベ ジュンコ)  
所属 コミュニティ子ども学科  
職名 教授

専門領域 平安文学、日本文化

専門の概要 平安期の物語、和歌、日記文学などを研究対象としています。歌物語が形成されてくる基盤は何か、物語や日記文学の「語り」性の考察等を研究課題として取り組んでおります。

備考 <著書>  
● 「伊勢物語の成立基盤考—『昔・・・』という語り出しを手掛かりにして—」(明治大学文学部紀要『文芸研究』第百二十六号所収)  
2015年3月  
● 「『伊勢物語』の章段語り出し考」(『新島学園短期大学紀要』第34号所収)  
2014年3月  
● 「伊勢物語の成立説再考」(『新島学園短期大学紀要』第32号所収)  
2012年3月  
● 「『歌物語』の形成条件—『元良親王集』を手掛かりにして—」(『新島学園短期大学紀要』第30号所収) 2010年3月  
● 「『更級日記』冒頭考」(『新島学園短期大学紀要』第28号所収)  
2008年3月

キーワード 「語り」と文章表現としての「語り」、物語の「昔」、「をり」

氏名 澤田 まゆみ (サワダ マユミ)  
所属 コミュニティ子ども学科  
職名 准教授

専門領域 音楽 (ピアノ)

専門の概要 ピアノ演奏を専門とし、バッハから現代作曲家までのレパートリーをもちますが、とくにドビュッシーの音響技法や山田耕筰、安部幸明のピアノ曲に精通しています。また、音楽を子どもたちと分かち合う活動や、キリスト教と音楽の関係についても研究・取組みを続けています。

備考 <主要公演>

- 「ショパン没後 150 年記念リサイタル」 2003 年 10 月、フランス/パリ
- 「演連コンサート 澤田まゆみピアノリサイタル」 2008 年 6 月、東京
- 「IX International Conservatory Week Festival」にて邦人作品演奏 2009 年 11 月、ロシア/サンクトペテルブルク
- 「澤田まゆみピアノリサイタル my favorites シリーズ」 2012 年～、東京
- 「ドビュッシーと音楽散歩 ピアノ作品全曲演奏会」 2013 年～、高崎
- 「高崎音楽祭 2013」にて群馬交響楽団と共演 2013 年 9 月

<論文>

- 保育士・幼稚園教諭に求められるピアノ・スキルとは何か 2013 年 3 月、新島学園短期大学紀要 33 号
- 安部幸明作曲 やさしいこどものピアノ曲集《夢の世界》について 2014 年 3 月、新島学園短期大学紀要 34 号
- 保育における安部幸明のピアノ曲集《夢の世界》の活用実践 2016 年 3 月、保育士養成研究第 33 号

<著書・CD>

- 「キリスト教とともに学ぶ音楽」 2010 年 4 月、聖公会出版
- 「曼珠沙華 山田耕筰 ヴァイオリンとピアノのための作品」 2011 年 2 月、ミッテンヴァルト
- 「夢の世界／子供の領分」 2014 年 5 月、ミッテンヴァルト

<その他>

- 上毛芸術文化賞受賞 2007 年 3 月
- オピニオン 21<視点>委員 (上毛新聞社) 2008～2009 年
- ショパン国際ピアノコンクール in アジア 審査員 2012 年～
- 高崎経済大学附属高等学校芸術コース音楽系講師 2006 年～
- 上田ーウィーンアカデミー参加アーティスト 2010 年～

キーワード ドビュッシーの音響技法、山田耕筰、安部幸明のピアノ曲、キリスト教と音楽

氏名 清水 将之 (シミズ マサユキ)  
所属 コミュニティ子ども学科  
職名 准教授

専門領域 子どもと遊び (幼児体育・レクリエーション)、保育科学  
専門の概要 直近の主たる対象は、児童厚生施設 (児童館) や放課後児童クラブにおけるレクリエーションとその指導法です。また、保護者支援領域におけるレクリエーションの援用も課題としています。他に、保育士養成とそれに係る諸問題 (実習システム) に関心を寄せています。

備考 <著書>

- 保育内容「健康」(共著) 2010 圭文社
- 保育イエローカード100「べからず」事例とその対応(共著) 2011 学文社
- 「ねらい」と「内容」で学ぶ保育内容・領域「健康」(編著) 2015 わかば社

<主な論文>

- 富士登山者の登山行動に関する調査研究 大泉保育福祉専門学校 研究紀要第10号,2012年3月
- 実習評価票(保育実習I)の妥当性に関する予備的検討 大泉保育福祉専門学校 研究紀要第11号,2015年9月

<主な講演・実技指導>

- 2012年度 幼稚園等10年目経験者研修(実技指導) 群馬県幼児教育センター(群馬県伊勢崎市) 2012年8月
- 幼児教育レクリエーションセミナー(講演) (広財)日本レクリエーション協会(昭和女子大学) 2012年3月
- 大泉町ファミリー・サポーター養成講座(講演) NPO法人いちご(邑楽郡大泉町) 2012年8月
- 3園合同職員研修会(講演) 社会福祉法人 多磨育成会(東京都昭島市) 2013年4月
- 児童厚生員等研修会(実技指導) (公財)群馬県児童健全育成事業団(群馬県太田市) 2013年7月
- 安中市学童保育(クラブ)指導員研修会(実技指導) 安中市学童クラブ連絡協議会(群馬県安中市) 2014年1月
- 児童厚生員研修会(実技指導) 群馬県佐波郡玉村町 2015年1月
- 第13回 明星大学 教育・保育セミナー(実技指導) 明星大学(東京都日野市) 2015年11月

<その他>

- 埼玉県鴻巣市公園等緑地監視員(2010年9月～)
- 埼玉県鴻巣市スポーツ推進審議会 審議委員(2014年4月～)
- 埼玉県鴻巣市青少年問題協議会 委員(2015年7月～)

キーワード 保育、幼児教育、児童厚生施設、放課後児童クラブ、レクリエーション、

保護者支援、保育士養成システム

氏名 成田 小百合 (ナリタ サユリ)

所属 コミュニティ子ども学科

職名 准教授、臨床心理士

専門領域 臨床心理学

専門の概要 心の傷についての理解と心の持つ回復力やケアについて、女性のアイデンティティの視点を有した研究をしています。臨床実践を研究と教育に結びつけて活動しています。

備考 <論文>

- 「子どもへの悩みからみた母親の成長」2008年 新島学園短期大学紀要第28号
- 「保育学生における母子画の標準タイプ—保育者志望動機との関連」2010年新島学園短期大学紀要第30号
- 「障害者の母親にとっての子育て—母親における障害のある『きょうだい』をもった子どもへの思い」2014年 新島学園短期大学紀要第34号
- 「わが子へのケアから他者へのケアへ—重症心身障害者の母親における他者との関係性に基づいた世代性の類型化」比較文化の地平をひらく p 358～P370 2014年 開文社

<著者>共著

- 「スタンダード心理学—基礎から応用まで」2014年 (株) おうふう

キーワード 子ども、母親、心理臨床、描画テスト、病院臨床、ケア、生涯発達

氏名 八幡 眞由美 (ヤハタ マユミ)  
所属 コミュニティ子ども学科  
職名 准教授

専門領域 保育、子育て支援、児童文化（絵本、紙芝居、児童文学など）  
専門の概要 現在の研究課題は「乳幼児が安全に移動できる環境整備に関する研究」です。子どもを持つ保護者が安心して外出できる環境を整えたとともに、誰もが快適に生活できる社会にすることを目的としています。

0歳から3歳児までの子どもをもつ保護者に外出に関するアンケート及び保育士に散歩活動に関するアンケートを実施しました。その結果、保護者や保育士が不便や危険を感じていること、一般人に配慮して欲しいことや配慮していることなどを明らかにし、乳幼児連れの移動の支援の方法について検討しています。さらに、保護者や保育士が不便や危険と感じている箇所を中心にフィールドワーク調査を行い、主に子ども連れが多く利用する公園などの遊び場、道路交通や乗り物交通、乳幼児連れがよく利用する施設（設備）などの実地調査を行っています。女性ならではの視点を活かし、授乳室やおむつ交換場所などの調査も実施しています。

備考

<著書>

- 実習に役立つ表現遊び2 2007 北大路書房
  - 児童文化がひらく豊かな保育実践 2009 保育出版社
  - 保育内容・保育方法総論の理論と活用 2010 保育出版社
  - 赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力 2010 保育出版社
  - 子どもの育ちと「ことば」 2010 保育出版社
  - プロとしての保育者論 2011 保育出版社
  - 子育て・子育て支援学 2011 保育出版社
  - 保育内容「言葉」 2012 (株)みらい
  - 家庭支援論 2014 保育出版社
  - マンガで学ぶ保育内容総論 2016 保育出版社
  - 保育内容 言葉 2016 大学図書出版
  - 保育原理 2016 大学図書出版
- \*いずれも共著

<論文>

- 交通障害者である乳幼児連れの移動上のバリア  
～子どもの遊び場におけるベビーカー使用者のバリアを中心に～  
障害理解研究第15号, 2014.03
- Barriers for Infants While Walking Felt by Nursery Teachers  
The Asian Journal of Child Care, 5, 2014.03
- Barriers on the road for people traveling with toddlers who are vulnerable road users -Focused on the survey subjecting parents-  
The Asian Journal of Disable Sociology,15 2016.3
- Difficulties Faced by Parents Going out with their Infants -the need felt by parents carrying buggies-

*The Asian Journal of Child Care, 7 2016.4*

●乳幼児連れを感じる駐車場利用時のバリアー保護者対象質問紙調査を中心—

新島学園短期大学紀要

<その他>

●前橋商工会議所主催 まちなかキャンパス講師（全3回）2012.7

●前橋市東公民館家庭教育学級（後期）もっと！すくすくおやこスクール講師 「絵本は心の栄養です」2012.11

●高崎市中央公民館 読み聞かせスキルアップ講座（全4回） 講師  
2015.11

<出演等>

なし

キーワード 保育、幼児教育、  
子育て支援、子育てバリアフリー、子どもの生活環境、子どもの遊び場、  
子どもの安全、児童文化、児童文学、絵本、紙芝居

氏名 小菅 ゆみ (コスゲ ユミ)  
所属 コミュニティ子ども学科  
職名 専任講師

専門領域 児童福祉

専門の概要 児童福祉施設で直接処遇に携わる保育士の養成を専門としています。  
児童相談所、児童自立支援施設ぐんま学園等現場での経験から、自立とは？  
自立支援とは？ といったことを常日頃考えています。

キーワード 保育士、児童自立支援施設、自立、寄り添う

お問い合わせ先 新島学園短期大学

TEL. 027-326-1155 [tandai@ns.niitan.jp](mailto:tandai@ns.niitan.jp)